

平成26年度「地域が誇る観光スポット」認定スポット

| No. | 名称 | めいしょう | エリア | 概要 |
|-----|------------|------------------|------|--|
| 1 | 虹が滝(夫婦滝) | にじがたき (ふうふだき) | 檜山 | 滝のしぶきに日の光が当たって、虹がたつので「虹が滝」と呼ばれている。巨岩の上から二つの滝が流れ、右側の水量の多いのが雄滝、左側が女滝と呼ばれ、夫婦滝となっている。 |
| 2 | 高野寺 | こうやじ | 久多美 | 弘法大師が天長年間(842年～834年)この地方を巡錫の祈り、開山開基したと伝えられている古刹。かつては諸堂を備えた大きな寺であったが、天正年間(1573年～1591年)に尼子勝久の乱逆に遭うなど、現在は奥の院のみが残る。 |
| 3 | 能呂志神社 | のろしじんじゃ | 久多美 | 延喜式神名帳に、能呂志神社、『出雲国風土記』には乃利斯社と記載されている古社。野石谷地区の氏神であり、毎年11月3日の例大祭では、宮花、神代神楽、獅子舞が奉納される。 |
| 4 | 久多美神社 | くたみじんじゃ | 久多美 | 『出雲国風土記』に記載されている三社が起源。三社毎年10月に行われる例大祭には、各町内から獅子舞、鉦舞及び神事華が奉納される。 |
| 5 | 求院八幡宮・鵠神社 | ぐいはちまんぐう・くぐいじんじゃ | 出西 | 「求院の地名」の起源を伝える神社。求院地区のランドマーク的スポット。・10月の例祭には、獅子舞と神事花の奉納がある。 |
| 6 | よつがねふるさと史跡 | よつがねふるさとしせき | 四絡 | 弥生時代のムラから連続と続く四絡地区に残る史跡。四絡地区旧4村は、神社や寺を中心に、祭りや行事を通して地縁を繋いできた歴史的景観の残る地域である。八野神社、大山神社、大歳神社、比那神社、補陀山観音寺はその中心となってきたスポットである。 |
| | 八野神社 | やのじんじゃ | (四絡) | 八野郷(現:矢野町)の郷社。祭神:八野若姫命。 |
| | 大山神社 | おおやまじんじゃ | (四絡) | 小山村(現:小山町)の村社。祭神:大山津見神。 |
| | 大歳神社 | おおとしじんじゃ | (四絡) | 大塚村(現:大塚町)の村社。祭神:大年神、御年神、若年神。 |
| | 比那神社 | ひなじんじゃ | (四絡) | 大塚村(現:姫原町)の村社。祭神:比奈鳥命。 |
| | 補陀山 観音寺 | ほださん かのんじ | (四絡) | 渡橋村(現:渡橋町)。本尊:十一面観音。 |
| 7 | 市森神社 | いちもりじんじゃ | 稗原 | 『出雲国風土記』に「加夜社」と記載される古社。他神社を圧倒する広さの拝殿には約200年前に奉納された三十六歌仙の額が懸けられている。神事花と神楽は市指定文化財となっている。 |
| 8 | 法王寺 | ほうおうじ | 稗原 | 野尻町に存する天台宗の古刹。当寺が所有する三面の懸佛(かけぼとけ)は国重要文化財。また境内にあるスダジイは「出雲市の名木」となっている。 |
| 9 | 稗原ダム湖周辺 | ひえばらだむこしゅうへん | 稗原 | 満々と水を湛え、周辺の山々とよく調和した風景は、訪れる人たちにうるおいと安らぎを提供している。「稗原ダム湖水公園」にはベンチや東屋が設置されており、水辺の風景を楽しむことができる |